

CASBEE神戸ver.3

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	神戸駅前プロジェクト	階数	地上12F
建設地	神戸市中央区東川崎町一丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、都市景観計画	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	- 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集会所,ホテル,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2018年12月3日
敷地面積	2,989 m ²	作成者	鴻池組 稲継 庸平
建築面積	1,788 m ²	確認日	2018年12月3日
延床面積	13,501 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 87%
③上記+②以外の 87%
④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.6

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.8 Q-2/2.4 信頼性 3.4	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 5.0
配慮の概要 〇「官庁施設の総合耐震計画規準及び同解説」(平成8年)における耐震安全性の分類を、構造体Ⅱ類とした。	配慮の概要 〇「官庁施設の総合耐震計画規準及び同解説」(平成8年)における耐震安全性の分類を、構造体Ⅱ類とした。	配慮の概要 上下2層構成の低層部を、周辺建物になじむシンプルなデザインとすることで圧迫感を低減し、建物をセットバックすることにより得られる敷地内歩道と街路樹を整備・統一することで、周辺のまちなみに沿った連続した街路空間を形成する。
その他の配慮事項 〇		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される